

2022

1月

# 北房通信



令和4年1月1日発行 北房振興局 TEL0866-52-2111

北房振興局からのお知らせや管内の出来事などを不定期で発信します。

## 西の明日香村に道しるべを！ ～北房文化遺産保存会～



荒木山古墳群の看板を設置する会員

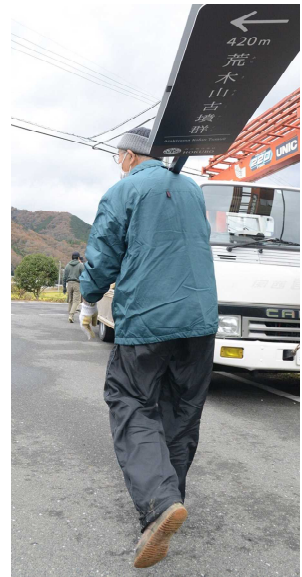
11月24日、地元有志でつくる「北房文化遺産保存会」が、史跡の誘導看板を設置しました。寒風が吹くなか、設置場所に事前に掘っておいた穴にセメントを流しこみ、専門業者に依頼して制作した看板を固定しました。今回設置し

たのは英賀廃寺や荒木山古墳群、菊池家墓所・砦部教諭所跡など11カ所。同保存会では、北房の史跡をつなぐルートを「山の辺の道」と称し、北房の史跡巡りに訪れた人のためにとこの道しるべの整備事業に取り組んでおり、賛同者からの寄付や助成金などで資金を集めてこの看板整備を実現しました。

来年度は、この取組の一環で、史跡巡りのためのパンフレットづくりに真庭市と共同で取り組む予定です。



手分けをして看板設置作業をする様子



## ほくぼうホタル学を開催しました ～北房ホタル保存会～



12月4日、北房文化センターで、「第1回ほくぼうホタル学」を開催しました。北房ホタル保存会が主催した講座で、市内外から24人が

参加。岡山市や倉敷市からの参加もありました。

今回の講座では、テーマを『ホタルの誕生、種と形態、発光の仕組み』として、「地球上にホタルが誕生したのが約1億年前」「ホタルは世界に2000種以上」といったことや、ホタルの種によって形や色、模様などの特徴が異なることなどを学びました。

また、講座の最後にはウミホタルを使った発光実験も行い、ホタルの体内にある「ルシフェリン」と「ルシフェラーゼ」が反応することによって光を発することを体感。参加者の皆さんは、暗くした部屋で鮮やかに青く光るウミホタルに驚いていました。

ほくぼうホタル学は、今後、テーマを変えながら継続して実施する予定で、観察会などの室内講座以外の企画や講演会も計画しています。